

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月23日

計画の名称	地域住民の暮らしを守る道路環境の整備（市町村）（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	小林市,えびの市,諸塚村,椎葉村,美郷町,高千穂町,都城市,都農町,高鍋町											
計画の目標	南海トラフ地震による県沿岸部の大津波や山間部の深層崩壊等、大規模災害時において、迅速かつ確実な救命・救援活動を可能にすることにより減災を図るべく、優先して啓開すべき道路の防災・改良工事を推進する。 交通安全施設等の整備を推進することにより、地域住民の安全を確保し、豊かな生活基盤を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,685	A	1,685	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30年度	令和2年度	令和4年度
1	大規模災害発生時における代替道路等、優先して啓開すべき市町村道の防災・改良率を向上させる。 防災・改良率 (防災・改良率を算出) = (防災・改良後の道路延長) / (優先啓開道路の延長) × 100%	0%	20%	50%
2	交通安全施設等の整備により、市町村道の安全性を向上させる。 対策必要箇所の解消数	0箇所	6箇所	6箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靱化地域計画A4.A5.A6.A8.A11.A13.A14.A15.A16.A19.A20宮崎県北定住自立圏共生ビジョンA6.A11.A13.A14.A15.A16にしろる定住自立圏共生ビジョンA1												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	小林市	直接	小林市	市町村道	改築	(1)東麓石瀬戸線・2工区	現道拡幅 L=0.35km	小林市						188	-	
	A01-002	道路	一般	えびの市	直接	えびの市	市町村道	改築	(他)末永平木場線	災害防除 L=0.18km	えびの市						57	-	
	A01-003	道路	一般	諸塚村	直接	諸塚村	市町村道	改築	(他)一号橋弓木線・1工区	現道拡幅 L=0.18km	諸塚村						7	-	
	A01-004	道路	一般	椎葉村	直接	椎葉村	市町村道	改築	(2)長崎唾谷線・唾谷工区	災害防除 L=1.50km	椎葉村						150	-	
	A01-005	道路	一般	椎葉村	直接	椎葉村	市町村道	改築	(2)長野飯干線・臼杵又工区	災害防除 L=0.90km	椎葉村						90	-	
	A01-006	道路	一般	椎葉村	直接	椎葉村	市町村道	改築	(他)小河内線・小河内工区	災害防除 L=1.50km	椎葉村						150	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	椎葉村	直接	椎葉村	市町村道	改築	(他)天包線・天包工区	災害防除 L=1.50km	椎葉村						150	-	
	A01-008	道路	一般	椎葉村	直接	椎葉村	市町村道	改築	(1)椎葉矢部線・尾前工区	災害防除 L=1.50km	椎葉村						150	-	
	A01-009	道路	一般	椎葉村	直接	椎葉村	市町村道	改築	(他)財木線・財木工区	災害防除 L=0.30km	椎葉村						150	-	
	A01-010	道路	一般	椎葉村	直接	椎葉村	市町村道	改築	(1)下福良線・下福良工区	災害防除 L=0.30km	椎葉村						150	-	
	A01-011	道路	一般	美郷町	直接	美郷町	市町村道	改築	(1)小黒木山口原線・1工区	現道拡幅 L=0.47km	美郷町						177	-	
	A01-012	道路	一般	高千穂町	直接	高千穂町	市町村道	改築	(他)御塩井～下押方線	災害防除 L=0.00km	高千穂町						0	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	道路	一般	諸塚村	直接	諸塚村	市町村道	改築	(他)柳原黒葛原線・1工区	災害防除 L=0.05km	諸塚村						40	-	
	A01-014	道路	一般	諸塚村	直接	諸塚村	市町村道	改築	(他)塚原七ツ山線・1工区	災害防除 L=0.06km	諸塚村						15	-	
	A01-015	道路	一般	高千穂町	直接	高千穂町	市町村道	改築	(2)田井本～竜泉寺線・1工区	災害防除 L=0.05km	高千穂町						30	-	
	A01-016	道路	一般	高千穂町	直接	高千穂町	市町村道	改築	(1)五ヶ村線	災害防除 L=0.20km	高千穂町						80	-	
	A01-017	道路	一般	都城市	直接	都城市	市町村道	交安	(他)八幡・甲斐元483号線ほか4号線	交通安全施設整備 N=5箇所	都城市						16	-	
	A01-018	道路	一般	都農町	直接	都農町	市町村道	交安	(2)長野開拓7号線	交通安全施設整備 N=1箇所	都農町						1	-	

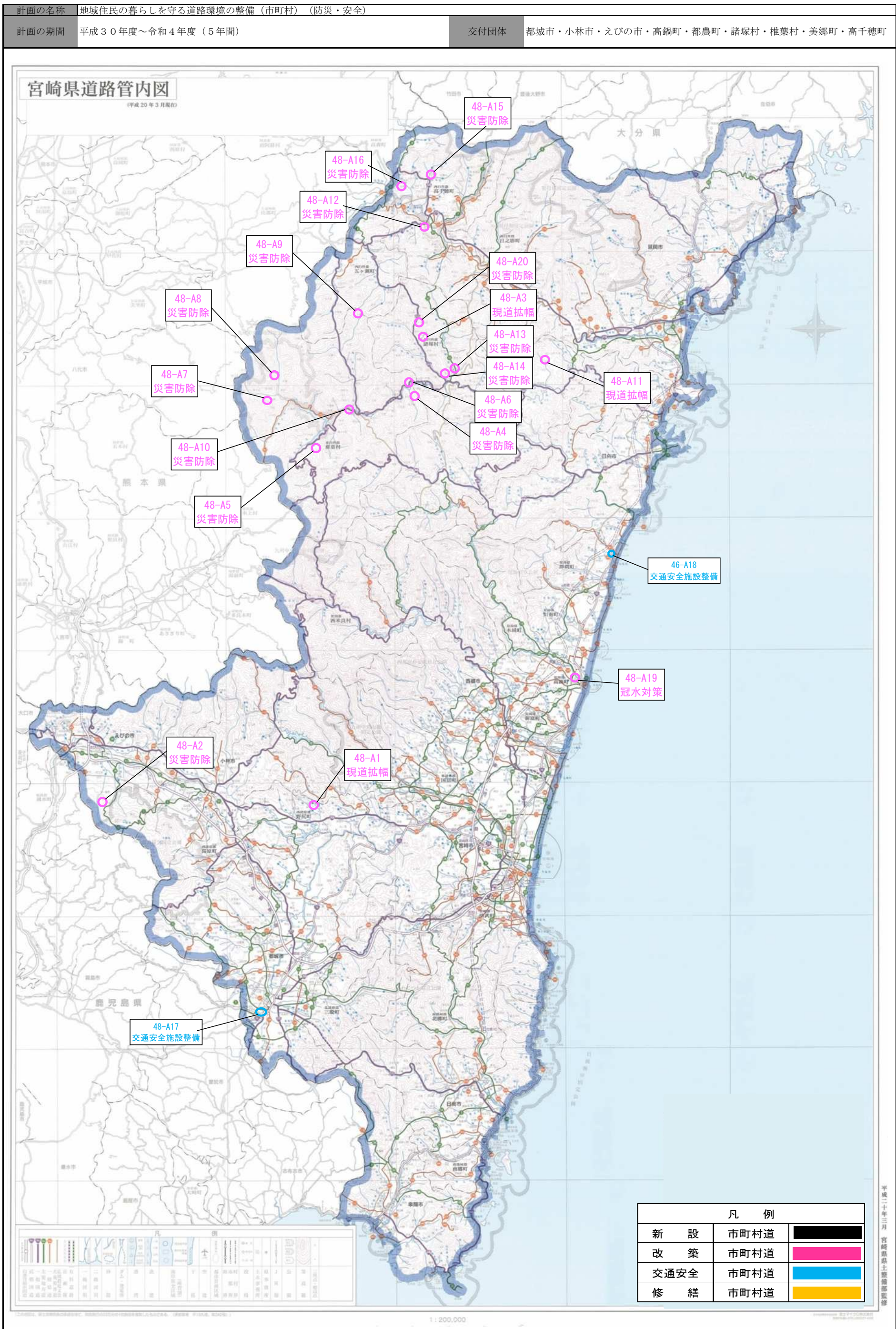
A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-019	道路	一般	高鍋町	直接	高鍋町	市町村道	改築	(他)中須ノ二(3)線・ 中須ノ二工区	冠水対策 L=0.22km	高鍋町						50	-	
道路事業	A01-020	道路	一般	諸塚村	直接	諸塚村	市町村道	改築	(他)匹谷星の久保線・1工 区	災害防除 L=0.04km	諸塚村						34	-	
											小計						1,685		
											合計						1,685		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	83	140			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	83	140			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	83	105			
翌年度繰越額 (f)	0	35			
うち未契約繰越額 (g)	0	11			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	7.85			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 地域住民の暮らしを守る道路環境の整備（市町村）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 基幹事業と関連事業・効果促進事業の一体性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 事業実施により、十分な事業効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性 事業費・事業内容が適切に設定されている。	○
III. 計画の実現可能性 実施工程に則して実施期間が設定されている。	○